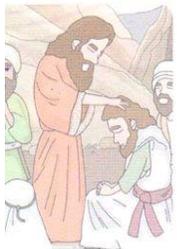
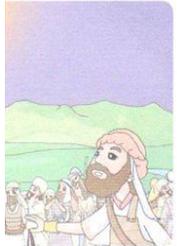


✓ ヨシュア記の背景を知ろう



ヨシュア記は、約束の地カナン征服に関する話です。神様は、イスラエルの民をヨルダン川を渡るようにされました。そして、そこに住んでいる悪い人々をさばかれて、アブラハムに相続地として与えられた約束された地に入るようにされました。ヨシュア記を記録した目的は、神様がアブラハムに約束された地を彼の子孫にくださることで、神様は真実な方という事実を見せています。



Handwriting practice lines consisting of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

✓ 聖書を黙想しよう



イスラエルの民がヨルダン川を渡る前にしなければならないことがありました。それは、待つ時間でした。神様は事を進行されながら、答えをくださる前に、いつも待つ時間を与えられます。ヨシュア記を読んでみれば、神様のみことばが成就する前に、待つ時間が過ぎてこそ、みことばが成就したことが分かるでしょう。待つ時間が神様が働かれることを見るようにするための神様の方法であることを記憶しながら、ヨシュア3章を黙想してみましょう。



Handwriting practice lines consisting of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

✓ 聖書クイズ

01

ヨシュアとイスラエルの民がエリコの町を回るときに祭司はなにをかっいでいましたか(ヨシュア 6:12)

02

ヨシュアとイスラエルの民が町を回ったとき、7人の祭司はなにを持っていましたか(ヨシュア 6:13)

03

7人の祭司はエリコの町を回ったとき、神様の契約の箱の前でなにを吹きましたか(ヨシュア 6:13)

04

7日目には、荷回まわりましたか(ヨシュア 6:15)

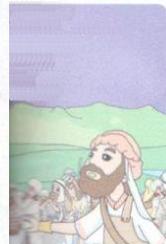
05

祭司が角笛を吹くと同時に、民が叫んだとき、なにがくずれ落ちましたか(ヨシュア 6:20)

答え：契約の箱、雄羊の角笛、角笛、7回、城壁

✓ 聖書を黙想しよう

イスラエルの民はヨシュアの指示に合わせて6日間なんの声も出さないでエリコの町を回りました。砂漠の中で、人々の足音が広がって、なんの声もなかったのです。そして七日目にヨシュアの指示に従って、すべての民が大きい声でときをあげて、いよいよ城壁が崩れ落ちました。エリコの町は、すべての民がときをあげたので崩れたのではありませんでした。イスラエルの民が、神様の前で従順にしたので起きた奇跡です。神様のみこころに従順にすれば、奇跡のようなことが起きます。ヨシュア6章を黙想して、神様のみこころに従順にする人になれますように祈りましょう。



Blank lined area for silent reflection.

くうぜんぜつこの こたえの しゅやく

3か

ヨシュア 10:10~14 主が彼らをイスラエルの前にかき乱したので、イスラエルはギブオンで彼らを激しく打ち殺し、ベテ・ホルンの上り坂を通過して彼らを追い、アゼカとマケダまで行って彼らを打った。(10) 主が人の声を聞き入れたこのような日は、先にもあとにもなかった。主がイスラエルのために戦ったからである。(14)



1. 神様はヨシュアを通して日と月がとどまる奇跡を見せられました (ヨシュア10:12)

2. 彼に空前絶後の答えを与えられました

1) ヨシュアの手にすべてを渡しました。(ヨシュア10:8)

2) 神様の助けによって戦争で勝つことができました。(ヨシュア10:11)

3) 神様のみこころのとおり、日と月がとどまる奇跡を行なわれました。(ヨシュア10:12)

3. 神様の民とまことの伝道者が必ず受ける答えがあります。(ヨシュア10:14)



Handwriting practice lines consisting of multiple horizontal dotted lines for writing.

✓ **せいしよ 聖書クイズ**

01

主が (①) をイスラエル人の前に渡したその日、ヨシュアは主に語り、イスラエルの見ている前で言った。「日よ。ギブオンの上で動くな。月よ。アヤロンの谷で。」民がその敵に復讐するまで、(②)。これは、ヤシャルの書に書かれているではないか。こうして、日は天のまなかにとどまって、まる一日ほど出て来ることを急がなかった。(ヨシュア 10:12~13) () のなかに入ることばはなんですか。

①

②

02

ヨシュア 10:14 を書いて、読んでみましょう



✓ **せいしよ 聖書を知ろう**



ヨシュアはギルガルを夜明けに出発して、10時間ほど走って行きました。そして、午後1時頃になりました。イスラエルで午後1時は、太陽がいちばん強いときです。太陽がギブオンの山地の上へのぼるようになれば、ヨシュア軍が太陽に向かうようになって、山地を占領するのに絶対的に不利な環境に置かれるようになりました。このとき、ヨシュアは神様に太陽と月を止めるように祈りました。神様は、ヨシュアの祈りを聞き入れられました。イスラエルは太陽に背を向けていて、エモリ人の五つの国は、太陽を正面に見るしかなくなりました。イスラエルは、神様に助けられて、戦争で勝利しました。

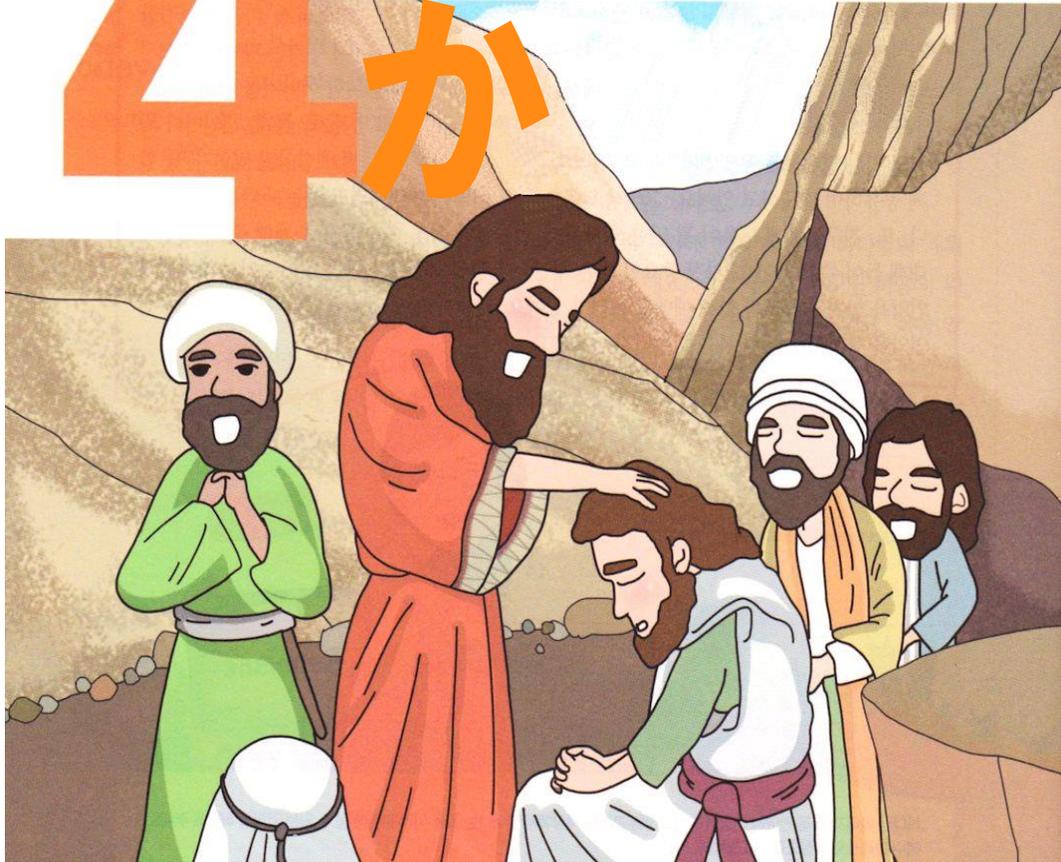


Handwriting practice lines consisting of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

もっとも たいへんな ところを えらんだ カレブ

ヨシュア 14:15 ヘブロン^なの名は、以前はキルヤテ・アルバ^{いぜん}であった。アルバ^なというのは、アナク^{じん}人^{なか}の中の最も偉大^{いだい}な人物^{じんぶつ}であった。そして、その地^ちに戦争^{せんそう}はやんだ。

4か



1. カレブは大変なことが生じると先頭に立つ人物でした

- 1) ヨシュアのことばをモーセのことばのように従^{したが}いました。(ヨシュア1:16~18)
- 2) イスラエルの民^{たみ}の不平^{ふへい}の前^{まえ}でも神様^{かみさま}のみこころを伝えました。(民14:1~10)
- 3) だれも行きたがらないアナク山地^いを信仰^{しんこう}によって征服^{せいふく}しました。(ヨシュア14:6~15)

2. 彼が大変なところを選択した理由がありました

- 1) アナク山地^{さんち}を見て不信仰^{ふしんこう}の話をした偵察^{ていさつ}した人々の報告^{ほうこく}のために、全イスラエルの民^{たみ}は神様^{かみさま}を恨むようになり、その結果^{けっか}、40年間^{ねんかん}荒野^{あらの}の道^{みち}を行くようになりました。(民14:1~3)
- 2) カレブはその中でヘブロン^{なか}を相続地^{そうぞくち}にできるように求めました。(ヨシュア14:6)
- 3) それは自分の人生^{じぶん}を細^{こま}かく導^{かみさま}かれた神様^{しん}を信^{しん}じるとい^{しやうこ}う証^{しやうこ}拠^こでした。(ヨシュア14:10)

3. カレブのように隠された指導者に与えられた神様の祝福があります。

(ヨシュア14:13~15)

- ヘブロン^{じぶん}を相続地^{じんせい}として受けました。そして彼^{かれ}を通して全土^{ぜんど}の戦争^{せんそう}が終わり^おました。





✓ **聖書を暗唱しよう**

神様に従順にして、神様にたよるとき、空前絶後の答えが与えられます。
次の聖句を暗唱して、神様に従順にする私を通して、神様の計画が
なされるように黙想してみましよう。

この律法の書を、あなたの口から離さず、
昼も夜もそれを口ずさまなければならない。
そのうちにしるされているすべてのことを
守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることで
繁栄し、また栄えることができるからである。
わたしはあなたに命じたではないか。
強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。
おののいてはならない。あなたの神、主が、
あなたの行く所どこにでも、
あなたとともにあるからである。

(ヨシュア 1:8~9)

✓ **聖書を黙想しよう**

ヨシュアはモーセを助けてカナンのにイスラエルの民を導いた人です。神様は、モーセに言われたように、ヨシュアにも直接、言われました。ヨシュア 14章 1節から 9節を見れば、ときには、くじを引くことによって、あるいは、主の軍隊の長官を通して神様のみこころを知らせられました。

カレブはヨシュアを助けてカナンを偵察しました。カレブもモーセとヨシュアのように、全能の神様を信頼して、徹底的に従順にして、どんな問題の中で気をおとさないで大胆でした。神様は信仰の人を通して、神様の隠れた計画を成し遂げていかれます。信仰の人モーセ、ヨシュア、カレブのように、私たちも神の子どもです。ヨシュア 14章 9節のみことばを黙想しながら信仰の人になりましよう。



Four sets of horizontal dotted lines for writing, each preceded by a short solid line.